



アタッチメントナッター取扱説明書

@N17d

このたびはLOBSTER製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
 ・ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 ・お読みになった後も、いつでも見られる所に保管してご利用ください。

◆安全上のご注意

- ◇ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、十分理解されて正しくご使用ください。
- ◇ここに示した注意事項は、**警告**と**注意**に区別していますが、それぞれの意味は下記のとおりです。

警告 誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意

注意 誤った取扱いをしたときに使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意

なお**注意**に記載した事項でも状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

警告

- マンドレルなど交換時、本体保管時は必ずドリルドライバーから外す。
 - ・不意に動作して事故になるおそれがあります。
- 作業場は十分に明るくする。
 - ・暗く視界が悪い作業は事故やけがの原因になります。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
 - ・保持しないとけがのおそれがあります。
- 保護めがねを着用する。
 - ・加工の破片等、意図しないもので目に傷害を受けるおそれがあります。
- 加工するものをしっかりと固定する。
 - ・安全のために、クランプや万力などを利用してください。
 - ・不意に動き、けがをするおそれがあります。
- ドリルドライバーのトルクを設定して使用する。
 - ・クラッチ等でトルクを設定して使用してください。
- ドリルドライバーのドリルモードは使用しない。
 - ・ドリルモードでは反力により本体が回ってしまい、けがのおそれがあります。
- ドリルドライバーの取扱説明書を読む。
 - ・ご使用ドリルドライバーの取扱説明書の内容も必ず守ってください。守らないと事故になるおそれがあります。

注意

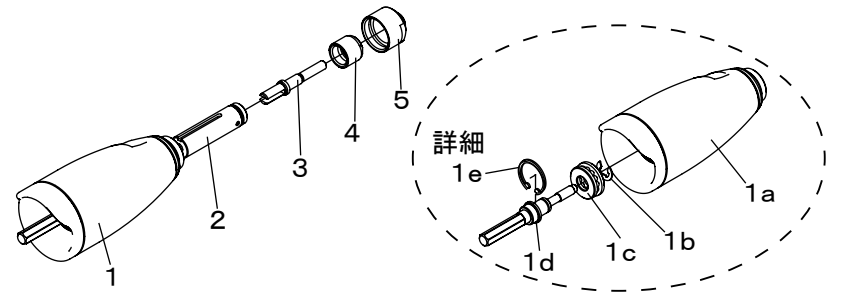
- マンドレルなどサイズ交換部品は取扱説明書に従い確実に取り付ける。
 - ・確実に取り付けないと、外れてけがをするおそれがあります。
- 作業場はきれいに保つ。
 - ・散らかった場所や作業台は事故の原因となります。
- 子供の手の届くところに置かない。
 - ・事故やけがのおそれがあります。
- 使用前に、本体や部品の損傷がなく、作動異常がないことを確認する。
 - ・損傷、異常によりけがをするおそれがあります。

1. 商品仕様

全長 × 外径 (mm)	175 × φ55
重量 (g)	440
スクリーシャック (mm)	対辺8 (六角)
かしめストローク (mm)	4
適用エビナット	NSD・NAD・NSK・NAK NTK・NSD-MR・NSK-MR
ねじサイズ	M4・M5・M6

大きさ、重量等は標準値ですので多少の数値の上下があります。

2. 各部の名称



フレームユニット詳細

番号	CODE	部品名
1	66556	フレームユニット
2	※	マンドレルケース (ユニット)
③	66538	マンドレル M6
	66539	マンドレル M5
	66540	マンドレル M4
4	66535	マンドレルヘッド
5	66542	フレームヘッド M6
	66543	フレームヘッド M5
	66544	フレームヘッド M4

番号	CODE	部品名
1a	※	グリップ
1b	10725	E型止め輪 7
1c	43968	ベアリング 51100
1d	※	スクリーシャック
1e	25654	C型止め輪 24

<使用材質>

グリップ：アルミ・ゴム

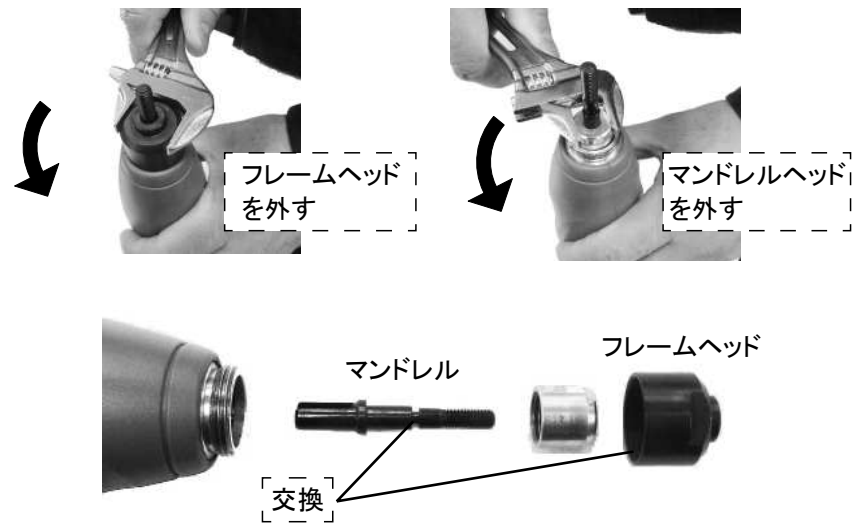
グリップ以外：スチール

<消耗品>

部品表の番号に○印のあるものは消耗品です。消耗時には交換が必要となります。
 ※部品番号2・1a・1dを交換の際は当社にお申し付けください。

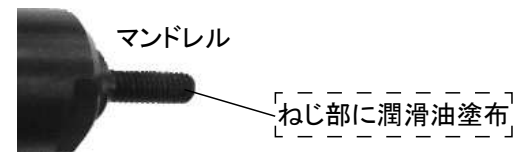
3. サイズ交換

お買い上げ時は、M6サイズが装着されています。
 サイズ交換は、マンドレル・フレームヘッドの両方を取り替えてください。
 [要点] フレームヘッドが固く外れにくいときは、工具(モンキレンチ等)を固定し本体グリップを左回転(反時計回り)させてください。



4. お手入れ

- ・潤滑油を塗布 (下図参照)
 20回を目安にマンドレルのねじ部に油を塗布してください。エビナットの取り付け、取り外しがスムーズになります。 推奨：ISO VG32
- ・やわらかい布で拭く
 本体樹脂部は、シンナー等の揮発性のものは使用しないでください。変形変色の原因となります。



5. 使用ドリルドライバーの仕様

DC14.4V・18V クラッチ目盛り 18段以上推奨
 クラッチ最大目盛りでのトルク4.4N・m相当(低速モードにてご使用ください)

スチール・ステンレスのM6エビナットを使用する場合はクラッチ最大目盛りでのトルク6.0N・m以上を推奨

<M4・M5のエビナットを使用する場合ドリルドライバーのトルクが大きすぎるとエビナットのねじ部が破断することがあります。適切なドリルドライバーをご使用ください。>
 ドリルドライバーのクラッチ目盛り一段に対するトルクの上昇幅が大きい場合、適正クラッチ位置が見つからないことがあります。適切なドリルドライバーをご使用ください。>

6. 使用方法

(1) 準備

空かしめを行ない、ドリルドライバーの適正クラッチ位置を調整する。
①ご使用のエビナットのねじサイズに合わせて、マンドレル、フレームヘッドを交換してください。(交換方法は3, サイズ交換を参照してください。)

②ドリルドライバーへ本体を取り付けてください。



③ドリルドライバーのクラッチを最も低い目盛りに合わせてください。



④本体を握り、ドリルドライバーを左回転(反時計回り)させてください。マンドレルが前進します。最大突出位置になると前進しなくなるので回転を止めてください。そこが初期位置になります。<ドリルドライバーに速度切り替え機構がある場合、必ず低速モードをご使用ください。>



「前進しなくなった位置が初期位置」

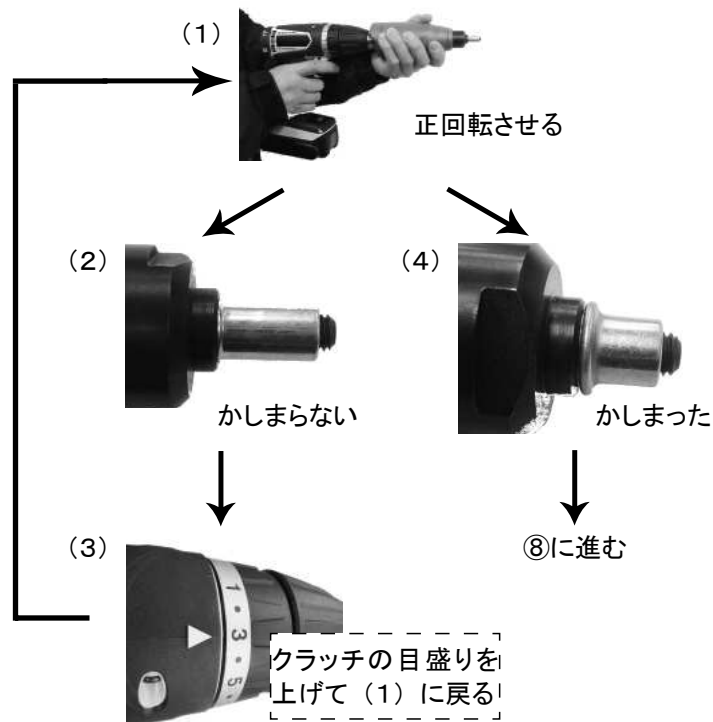
⑤マンドレルのねじ部に潤滑油を塗布してください。(潤滑油の塗布は4. お手入れを参照してください。)

⑥本体を握り、エビナットがフレームヘッドに接する位置までねじ込んでください。



「接する位置までねじ込む」

⑦ (1) 本体を握り、ドリルドライバーを正回転させてください。(2) エビナットがかしまらない場合、(3) クラッチの目盛りを一段上げてください。(1)再度ドリルドライバーを正回転させてください。エビナットがかしまるまで、これを繰り返し、(4) かしまったところで終わってください。このクラッチ目盛りがご使用のエビナットをかしまる適正クラッチ位置となります。



<< 参考 >> 同じ機種、クラッチの目盛りが同じでもドリルドライバーの状態(コンディション)によりクラッチの効き具合は異なります。ご使用前には必ず、空かしめを行ない、ドリルドライバーの適正クラッチ位置を調整してください。

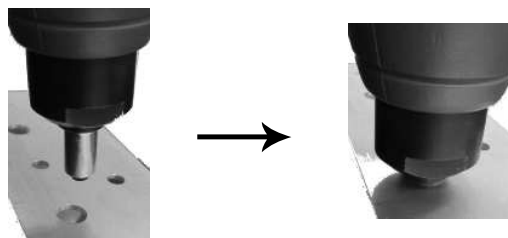
⑧本体を握り、ドリルドライバーを左回転(反時計回り)させてください。マンドレルが初期位置になります。(マンドレルが最大に突出)

⑨本体を握り、エビナットを手で回しマンドレルから取り外してください。エビナットが外れにくい場合、一旦本体をドリルドライバーから取り外してから、ペンチ等でエビナットを掴み本体を手で回し取り外してください。

<準備は作業前に毎回行なってください。クラッチ目盛りが適正でない場合、早期にマンドレルが破断することがあります。>

(2) 作業

①本体を握り、エビナットを手で回しマンドレルへ取り付けてください。(エビナットがフレームヘッドに接する位置までねじ込んでください。)
②エビナットを下穴へ差し込んでください。(エビナットのつばが母材に接するまで差し込んでください。)



③本体を握り、母材に対して本体を垂直に保持したままドリルドライバーを右回転(時計回り)させてください。ドリルドライバーのクラッチが効くとかしめ終了です。ドリルドライバーを止めてください。



④本体を握り、ドリルドライバーを左回転(反時計回り)させてください。マンドレルが初期位置になります。(マンドレルが最大に突出)

⑤締結したエビナットに対して本体を垂直に保ち、本体から手を離れた状態でドリルドライバーを左回転(反時計回り)させ直接、手でエビナットを取り外してください。本体が回転しない場合は手で本体を左回転させてエビナットを取り外してください。

7. 故障かな?と思ったら

故障とお考えの前に以下の項目の確認を行なってください。全て確認しても当てはまらない場合は当社にお問合せ、又は修理を依頼してください。

症状	原因	処置
エビナットがかしまらない。	ドリルドライバーのクラッチ目盛りが低い。	クラッチ目盛りを適正に合わせてください。
	ドリルドライバーの仕様クラッチトルクが低い。	本工具に合ったドリルドライバーを使用してください。
エビナットがスムーズに入らない又は抜けない。	マンドレルねじ部の潤滑不足。	潤滑油を塗布してください。
	マンドレルねじ部の損傷。	マンドレルを交換してください。
マンドレルが折れた。	部品の寿命。	マンドレルを交換してください。
	ドリルドライバーのクラッチ設定が極めて高い、又は、ドリルモードになっている。	ドリルドライバーはクラッチモードにし、6. 使用方法 (1) 準備に従い適正な目盛りに合わせてください。
ドリルドライバーを左回転(反時計回り)してもマンドレルが引き込まれずそのまま元に戻らない。	本機の仕様ストロークを超えてマンドレルを引き込んだため。(エビナットを取り付けずにドリルドライバーを右回転(時計回り)させた。)	本体先(マンドレル側)を下方に向け、ドリルドライバーを左回転(反時計回り)させて元に戻してください。
ドリルドライバーを正回転してもマンドレルがすぐに引き込まれない。	製品の仕様によるもの。(準備動作がなされた後に引き込み動作が始まります。)この間1~2秒を要します。	故障ではありません。機構上の仕様ですので、安心してご使用ください。

株式会社 ロブテックス

コールセンター 千 579-8053 大阪府東大阪市四條町 12-8
TEL (072) 980-1111 FAX (072) 980-1166
ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

ND0002S00102